

こだま俳壇 (2020年10月)

- 曼珠沙華砂丘の先の海と空 友井眞言  
繋がり絶やさず鷹の山別れ 高橋和江  
手に馴染む母の播粉木とろろ汁 田中一男  
一人座すすずむしまつむしスマホ鳴る 木村武子  
掃く人の無く禅寺のこぼれ萩 松尾佐知子  
独り居のコンサートなる虫の闇 三井光子  
淋しさのまっただなかや曼珠沙華 中野みどり  
脱衣場の足元跳ねるちちろ虫 島田多嘉子  
松虫や流るる雲はアンダンテ 角田英昭  
いわし雲山への想いつのる日々 小室豊子  
鈴虫の声を潜めて鳴く夜半 白石保次郎  
長姉を亡くし深まる秋模様 後藤貞夫  
せせらぎの狭き川辺に曼珠沙華 並木まり子  
耳をつく青松虫や庭木立 本山文子  
散歩する犬の首輪に曼珠沙華 中村桂子  
曼珠沙華七人の名の黒マスク 瀧澤正行  
村里は木犀の香に包まるる 常世田芳子  
鎌倉の古道に白き曼珠沙華 鳥海敏雄  
同窓会話題が尽きぬ夜長かな 柳瀬節子  
虫時雨牛舎泊まりとなりにけり 講師 太田土男